

# 第31号

(2016年10月1日発行)

発行: 中央大学学会 出版白門会

## CONTENTS

(お名前は敬称略)

- ▽第17回定期総会開催
- ▽総会・懇親会クイズより
- ▽馬込文士村を歩く…丹田 公和
- ▽デジタル・オンデマンドセミナー  
…土屋 隆一
- ▽出版白門会へようこそ
- ▽学会 支部ホームページコンテスト  
…北村 信治
- ▽学員交歓
- ▽懇親会クイズの解答
- ▽平成28年度役員紹介
- ▽決算報告・新年度予算
- ▽告知板
- ▽編集後記

### 出版白門会の関連行事予定

- ① 31号会報発行 10月1日
  - ② 箱根駅伝予選会応援 (於: 立川)  
10月15日(土)  
※応援に参加される方は9時30分に立川駅東改札口前に集合して下さい。
  - ③ ホームカミングデー  
10月23日(日)  
(於: 中央大学多摩キャンパス)
  - ④ <江戸東京>歴史文化散策「赤穂浪士凱旋の道を歩く」  
11月12日(土) 10時 JR 両国駅西口  
※詳細は後日会員メールにてご案内いたします。
  - ⑤ 第16回能楽鑑賞会  
12月10日(土) / 12時開場、13時開演  
会場: 国立能楽堂 (渋谷区千駄ヶ谷 4-18-1) / JR 千駄ヶ谷駅より徒歩5分  
狂言 縄鉤 (なわない) 善竹十郎 (大蔵流)  
能 胡蝶 (こちょう) 木月学行 (観世流)  
※「申し込み方法」「内容詳細」は会報に同封する、申し込みチラシをご覧ください。
  - ⑥ 箱根駅伝復路応援 (予定)  
1月3日(火) 復路ゴールの中大応援団前
  - ⑦ 出版白門会新年会と懇親会  
1月20日(金) 18時30分～  
会場: 日本出版クラブ会館 会費: 6,000円  
※後日、出欠確認を兼ねたご案内をお送りいたします。
  - ⑧ 会員交流花見 (於: 靖国神社)  
4月1日(土) 17時現地集合  
※詳細は後日会員メールにてご案内いたします。
- 行事に係るお問い合わせは、下記メールにてご連絡ください。  
E-mail: pub.hakumon@gmail.com

# 出版白門

● 出版界に出版白門の知恵と情熱を! ●

### ●基本方針

1. 会員ニーズに応える活動による、会員満足度の向上
2. 中央大学、学会、他支部との連携強化
3. 会費徴収促進による、財政の健全化

### 第17回定期総会開催

第17回定期総会が7月28日(木)、猛暑の中、神崎茂治中央大学常任理事、大木田守中央大学学会副会長の2名を来賓に迎え、会員37名の出席により、神楽坂の出版クラブ会館で開催された。

濱田会長の開会挨拶に続き、議事に移り、27年度事業報告、決算報告、28年度活動方針、予算の4議案について報告・提案が行われ、全議案が原案通り承認された。「中大生よ、本を読め」と題し、八王子生協でブックフェアを展開した読書推進活動については、28年度も新たな企画で取り組むことが報告された。

第二部の懇親会では、来賓挨拶で、神崎常任理事より大学の近況報告があり、大木田副会長より学会の取組状況が述べられた。続いて、5月

に日本雑誌協会の理事長に就任した鹿谷理事より、雑誌売上拡大に向けた業界の様々な取組の紹介と、協力を呼びかけ、高らかな乾杯で懇親会がスタートした。

初参加者紹介では、弁護士の井奈波さん、作家の小島さん、今年卒業したサイゾーの古寺さんの3名より自己紹介があり、会場からは盛大な歓迎の拍手が沸き起こった。

恒例の「テーブル対抗中大クイズ大会」では、年次支部白門58会の協力で「中大検定」をリメイクして出題。勝敗は最終5問までもつれこむ大接戦となり、大いに盛り上がった。最後は、恒例の土屋事業委員長の歌唱指導による校歌の斉唱、朝妻副会長の中締めで名残を惜しみつつ閉会となった。



懇親の輪が広がる会場



声高らかに校歌斉唱



お馴染みとなった「耐忠」の二次会

### 総会・懇親会クイズより

【第1問】戦後、女子教育刷新要綱の制定を受けて中央大学に女子学生が初めて誕生したのは昭和21年ですが、その時の入学者数は何名だったのでしょうか。(専門部は除きます)

- ① 1名 ② 3名 ③ 7名 ④ 10名

【第2問】オリンピックで最も多くのメダルを獲得している中大の部会は?

- ① レスリング ② ボクシング ③ 重量挙げ ④ 水泳

【第3問】バレーボール全日本男子のエースとして活躍している、中大3年の石川祐希(20才)が、中大に籍を置いたままイタリア・セリエA1へ加入することになりましたが、さて、そのチームの名は何というのでしょうか?

- ① ラベンナ ② ペローナ ③ トレンティーノ ④ ラティアーナ

【第4問】中央大学出身で、オリンピック出場回数が最多の選手を輩出しているのは何部でしょうか?

- ① スキー部 ② フェンシング ③ ボート ④ バレーボール

※出題に当たりましては、白門58会様のご許可をいただき、同会の「中大検定」をベースにさせていただきました。

出版白門会ホームページアドレス <http://pub-hakumon.jimdo.com/>

facebook 出版白門会サイトへのアクセスは検索サイトの「出版白門会(中央大学学会職域支部)」から…

## 第6回 地図を通して知る東京 ～馬込文士村を歩く～

「地図を通して知る東京」、今回は前回の「田端文士村」に続く東京の文士村の第二弾で、大田区の「山王」「南馬込」「中央(旧新井宿)」地区に展開されている馬込文士村跡を歩いた。この大森地区については、寡聞にして「大森貝塚」「町工場」「雑然とした駅前」といったイメージしかなかったが、今回の町歩きでこの場所が大正末期から昭和初期にかけて、多くの文士や芸術家たちが住み、一大文化センターを形成したことを知り、認識を全く新たにしました。ここで生活した文化人は「馬込文士村資料展示室」に掲示された資料だけでも44名にも



徳富蘇峰旧居

上り、とても1日では回ることができず、今回は山王地区だけを歩いた。散策前の大森のイメージからは、なぜ大森に文化人が集まったのかはピンと来なかったが、駅の真前にある天祖神社に続く階段を登り切った時に、その理由の一端が腑に落ちた。駅前の雑然とした雰囲気とは隔絶し、高台には山の木々の間に閑静な住宅街が広がっている。おそらく、文士や芸術家がこのこに住み着いたころには、今よりもっと鬱蒼とした森があり、この高台からは東京湾も間近に見えたことだろう。

天祖神社に続く階段脇の壁に埋め込まれた、当時の文士村の生活を表したレリーフ群からは、大正・昭和文化を謳歌し、仲間同士でマージャンをしたり、ダンスをしたりしながら日常を楽しむ光景が蘇ってくる。開発が進み、文士の住居の面影がまがりなりにも残っているのは、今回歩いた山王地区では、徳富蘇峰邸、尾崎士郎邸で、後は住居跡碑が建つくらいだが、町全体が概ね区画整理がされておらず、昔のままの曲がりくねった道が残されており、その道の佇まいや、忽然と目の前に現れる、昭和の匂いがする建物から、在りし日の文士村が想像された。

### ■当日の山王地区散策ルート

文士村レリーフ⇒天祖神社⇒大森射の場跡(日本帝国射協会の協会)⇒闇坂⇒望翠楼ホテル跡⇒馬込文士村資料展示室⇒善慶寺⇒片山広子住宅碑⇒山本有住宅碑⇒弁天池巖島神社⇒室伏高信住宅碑⇒室尾星住宅碑⇒榊原潤住宅碑⇒藤浦洗住宅碑⇒徳富蘇峰旧居(山王草堂)⇒尾崎士郎記念館⇒大森貝塚

その他、「馬込文士村」には、宇野千代、川瀬巴水、川端康成、川端龍子、佐多稲子、萩原朔太郎、村岡花子、山本周五郎、吉屋信子、石坂洋次郎、北原白秋、小林古径、高見順、広津和郎など、多彩な文化人が住んでいた。

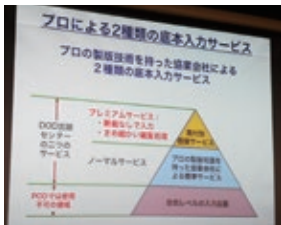


馬込文士村住民レリーフ

## デジタル・オンデマンド出版セミナー 開催

6月7日(火)17時より、「デジタル・オンデマンド出版セミナー」を「門前仲町駅」徒歩5分にある、(株)スクリーンホールディングスのショールーム、ホワイトキャンパスMON-NAKAに於いて、21名の出席で開催しました。出版白門会以外にも門戸を広げた為、新鮮な顔ぶれと、大変有意義な研修会となりました。

デジタル・オンデマンド出版センターの浴野、小林両氏から概



要説明を受け、その後、デジタル印刷機での書籍製作工程の見学を行った。質疑応答では、色や紙に関する具体的な質問も飛び出し、ロール式インクジェット印刷機を活用した中小出版社向け小ロット低コスト出版サービスへの関心の高さが窺えました。終了後に開催した懇親会では、若い人の感想も聞け、大いに盛り上がりしました。

### 参考:

社名 株式会社 SCREEN ホールディングス  
門前仲町事業所(ホワイトキャンパス MON-NAKA)  
所在地 〒135-0044 東京都江東区越中  
島一丁目1-1 ヤマタネ深川1号館1F



## 出版白門会へようこそ

(アイウエオ順)

### 井奈波 朋子(いなば ともこ) 聖法律事務所 1989年 法学部卒

「聖(しょう)法律事務所」との名称で、日本橋茅場町で法律事務所を開設しております弁護士井奈波朋子(いなばともこ)と申します。弁護士というより、むしろ酒好きとして知られているような気がいたします。出版関係者ではありませんが、著作権問題を多く扱っていることから出版白門会からのお誘いをいただくようになり、各種の集まりに参加しております。当事務所のホームページ(<http://shou-law.com/>)には、当事務所の取扱業務のほか、出版をはじめとする著作権問題に関するコラムを掲載しております。一度、ご覧いただければ嬉しく存じます。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



### 小島 唯史(こじま ただし) アトリエ・レトリック 1987年 文学部卒

1987年、中央大学文学部仏文専攻卒業。在学中は学術連盟文学会に所属し主に現代詩を書いていました。現在は広告制作業と自費出版業を生業としつつ、「ばっぶ」の筆名にて紀行文を、「瀬木匡史」の筆名にて小説を書いています。2006年、当時在住していたニューカレドニアでの旅の記録を『ニューカレドニアで逢いましょう』(文芸社)のタイトルで出版。2014年には1992年から2000年まで在住していたフランス本国での生活経験を基にした長編ミステリ『パリの憂鬱』(アトリエ・レトリック)を出版しました。出版白門会の存在は最近知り入会させて頂きました。皆さまのご指導・ご鞭撻のほど賜りたく何卒よろしくお願い致します。



### 古寺 雄大(こでら ゆうだい) サイゾー 2016年 文学部卒

この度、中央大学出版白門会に入会させていただきました古寺雄大です。今春、文学部を卒業し、現在『月刊サイゾー』という雑誌の編集部で契約社員として働いております。

就職活動を間近に控えていた昨年、北村先輩(出版白門会)の大学での講義を受けた後輩に出版白門会のことを教えてもらい、その運びで在学中に新年会に参加させて頂いたのですが、その時に会員の皆様の連帯感と愛校精神に強い感銘を受けました。その時から「絶対に入会しよう」と思い、何とか出版業界に潜り込めたため、この度念願が叶いました。

下世話な雑誌の編集部にいる若輩者ですが、先輩方の築かれた良き伝統を守り、迷惑をかけないように頑張りますので、今後ともご指導の程よろしくお願い致します。





## 学員会 支部ホームページコンテスト報告

学員会が主催した上記コンテストの結果が発表されました。

ホームページを持っている96支部を対象に審査され、20支部が受賞しました。

我々の出版白門会は佳作を受賞しました。ホームページのデザインについては今後の課題ですが、昨年、会をあげて取り組んだ特別企画「中大生よ、本を読め！」や年間活動の更新内容など、トータルで判断いただいたものと思われる。いただいた賞を励みにこれからもホームページを活用して会の情報発信をしていこうと思います。

表彰式は5月21日（土）に開催された「定時協議員会・定時学員総会」で行われました。

受賞した支部は下記の通りです。

**最優秀賞**：白門四一会支部

**優秀賞**：東京杉並区支部ほか3支部

**佳作**：出版白門会支部ほか5支部

**努力賞**：東京世田谷区支部ほか9支部

**審査員特別賞**：南甲倶楽部支部・白門58会支部



## 学員交歓

### ■「桂やまと独演会」に、出版白門会の呼びかけで白門同窓が結集

❖出版白門会、森岡理事、高木組織委員長、阿部幹事の呼びかけで、4月17日（日）東京大神宮研修所での桂やまと師匠の独演会に、出版白門会をはじめ、白門57ネット、白門三九会、白門45会、白門48会、年次支部協議会、中大落研OBの白門同窓12人が参集しました。やまと師匠の迫真の“演技”を堪能した後は、呼びかけ人が貸し切で設営した、近くの居酒屋で懇親会を開催。店主の心づくしの酒肴がならぶ会場には、やまと師匠とマネージャー役の奥様も同席され、時を忘れて白門の親睦の輪が広がりました。



### ■白門57ネット企画の「中大落語会」に参加

❖白門57ネット企画の第3回「中大落語会」が、6月25日（土）に中央大学駿河台記念館に54名が参集して開催されました。

「中大の、中大生による、中大生のための」と銘打たれたこの会は、中大落研出身のプロの噺家に「おめでとう」がある都度に開催され、第1回は“桂やまと”さんの真打昇進、第2回は“春風亭朝也”さんのNHK新人落語大賞受賞、そして今回は“林家つる子”さんの二つ目昇進祝いで開催されました。

これまで57ネットと度々コラボしてきた、出版白門会からも5名と、そして会員が動員した学員関係者5名、計10名が参加しました。

第1部では、一段と腕を上げた“つる子”さんの『皿屋敷』『やかん』の二席に場内大いに沸き、会場を近くの「げんない」に移しての第2部では“つる子”さんを囲み、中大落研先輩・後輩の関係にある出版白門の森岡さんと、つる子さんの「謎かけ」合戦や、当日ゲストの中国人留学生の劉源さんの中国楽器の演奏（写真参照）、など“出し物”も続く中、参加者の談笑の輪が広がり、『仲間との語らい』を大いに楽しみました。

この企画には、出版白門会を始め、「白門45会」「白門46会」「白門53会」「白門58会」等々、各支部から同窓生が参加し、回らずも学員会・室副会長の挨拶にあった、学員会の「支部間交流を活性化する」という目標を具現化した会となりました。（広報委員会・丹田）



## 懇親会クイズの解答

【第1問】（正解）②の3名。

法学部本科への入学で、因みにその中の永石泰子は在学中に司法試験に合格しています。

【第2問】（正解）①のレスリングです。

ヘルシンキで石井庄八が金メダルを獲得したのち、メルボルンで笹原正三と池田三男、東京大会で渡辺長武、メキシコで中田茂男が優勝。計5個の金メダルというのは驚異的。

【第3問】（正解）④のラティーナです。

因みにセリエA1には12チーム、セリエA2には13チームが所属しています。

【第4問】（正解）①のスキー部です。

スキー部出身のクロスカントリー選手今井博幸が第16回のアルペールビルから第19回のソルトレークシティまで4大会連続で出場しておりこれが最多。3回出場は、フェンシングの大川平三郎（ローマ、東京、メキシコ）他、ボートの伊藤次男、阿部肇、田邊保典、バレーボールの横田忠義、嶋岡健治、自転車競技の飯島誠。

## 平成28年度役員紹介

会長 濱田 博信 (日本図書普及)	幹事長 竹林 聡 (日本出版販売)	組織委員長 高木 浩行 (トーハン)
副会長 朝妻 伸雄 (集英社 OB)	副幹事長 白石 紀一 (檜書店)	事業委員長 土屋 隆一 (IPCビジョン)
風間賢一郎 (中央社)	書記 利根川伸行 (TONEGAWA)	広報委員長 北村 信治 (医学映像教育センター)
理事 安部 英行 (学事出版)	会計 島崎 修 (ディスカバリー)	
一戸 裕子 (羊土社)	藤原 隆通 (日本経済新聞出版社)	顧問 上瀧 博正 (全国出版協会)
鹿谷 史明 (ダイヤモンド社)	会計監査 矢下 晴樹 (中央社)	顧問 小竹 正倫 (地図協会)
森 武文 (講談社)		
森岡 憲司 (トーハン)		

## 決算報告・新年度予算

## 中央大学学員会出版白門会 平成27年度決算報告

自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日

収入の部 (単位:円)		
科目	決算額	摘要
前年度繰越金	692,150	前年度からの繰越金
会費収入	351,000	年会費 5,000円×70人、新入会費 1,000円×1人
その他収入	647,300	総会費、新年会費、学員会祝金など
(内訳) 総会費	259,000	6,000円×37人、2次会費、学員会祝金
新年会費	378,300	6,000円×50人、2次会費、書籍売上金
その他	10,000	講演会講師料補助(10,000円)
支部活動支援費	80,000	支部活動支援費
寄付	62,146	幹事寄付
雑収入	181	会計口座利子
総計	1,832,777	

支出の部 (単位:円)		
科目	決算額	摘要
事業費	1,080,249	総会関連費用、理事会関連費用、新年会関連費用、会報製作費など
(内訳) 総会費	320,322	平成27年7月29日
理事会費	16,200	平成27年7月29日
新年会費	448,452	平成28年1月22日
幹事会費	1,370	
会報製作費	237,721	会報28号、29号製作費、発送料など
その他事業費	56,184	能産賞金関連費用、中大読書推進活動パンフレット印刷代など
事務費・雑費	5,390	振込手数料など
庶務費	0	
交際費	17,992	ホームカミングデー提供品代など
繰越金	729,146	次年度への繰越金
総計	1,832,777	

中央大学学員会出版白門会計  
島崎 修  
藤原 隆通  
中央大学学員会出版白門会計監査  
矢下 晴樹

## 中央大学学員会出版白門会 平成28年度予算

自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日

収入の部 (単位:円)		
科目	予算額	摘要
繰越金	729,146	前年度からの繰越金
会費	352,000	入会金 1,000円×2人、年会費 5,000円×70人
各種会費	680,000	総会費、新年会費、その他事業参加費他
(内訳) 総会費	280,000	6,000円×40人、2次会費など
新年会費	350,000	6,000円×50人、2次会費など
その他会費	50,000	その他事業会費
学員会補助金	100,000	支部活動支援費 80,000円、講師料補助 20,000円
寄付金	15,000	幹事寄付など
雑収	180	会計口座利子など
合計	1,876,326	

支出の部 (単位:円)		
科目	予算額	摘要
事業費	1,066,200	会報製作費、総会費、その他事業活動費
(内訳) 総会費	320,000	
理事会費	16,200	
新年会費	400,000	
幹事会費	10,000	
会報製作費	240,000	年2回(4月、10月)発行予定
その他事業費	80,000	講演会費、事業費、名簿作成費、読書推進活動費など
事務費・雑費	10,000	事務用品、交通費、振込手数料等
庶務費	20,000	
交際費	30,000	学員会出席祝儀、ホームカミングデー賞品など
繰越金	750,126	次年度以降に繰り越すべき会費等
合計	1,876,326	

中央大学学員会出版白門会計

## ★白門同窓の飯塚翔太選手がリオ・オリンピックで銀★

メダルラッシュに沸いたリオ・オリンピック。その掉尾を飾ったのが、男子4×100mリレー銀メダルの快挙でした。一人、一人の力量では他国に劣るものの、団結力とバトンタッチの技術力での勝利は日本的な勝利として、国民に感動を与えました。

このチームの第2走者で、チームのまとめ役だった飯塚翔太は、2014年中央大学法学部卒業(現ミズノ)で、中大在学中の第89回関東学生陸上競技対校選手権大会4×100mリレーにアンカーとして出場し、競り合う早稲田大学に10mの差をつけ、38秒54の日本学生記録を樹立して優勝しました。

## 告知



## ■箱根駅伝予選会応援(於:立川)にご参加ください

今年の予選は、来年の箱根駅伝に出場できるか微妙な位置にあります。連続出場記録が切れるというニュースにならないよう、ご声援をお願いします。予選会応援にご参加できる方は10月15日(土)9時30分に立川駅東改札口前に集合。一緒に昭和公園の応援会場に向かいます。

## ■①出版白門会ホームページのご案内

アドレスは<http://pub-hakumon.jimdo.com/>です。GoogleやYahooといった検索サイトで「出版白門会」を検索すると上位にヒットしますので、そこからのアクセスも可能です。最新の活動情報などを更新していますので、是非アクセス下さい。

## ■②出版白門会事務局へのご連絡は下記メールアドレスをご利用ください。

E-mail:pub.hakumon@gmail.comです。

## ■会費未納の皆様へ(年会費金額¥5,000)

## ①同封の振込用紙にて、もしくは下記口座へお振込みをお願いいたします。

郵便振替口座記号番号 00180-8-600659

加入者名 中央大学学員会出版白門会

振込用紙がなくても、直接郵便局の窓口やATMでも手続きができます。ゆうちょ銀行の口座をお持ちの方は、ゆうちょダイレクト(パソコン、携帯、スマホなど)もご利用いただけます。

## ②他行(銀行など)からの振込みをされる場合は下記口座をご指定のうえ、手続きして下さい。

ゆうちょ銀行 当座預金

店名(店番) 〇一九(ゼロイチキユウ)

口座番号 0600659

口座名義 チュウオウダイガクガクインカイシュツパンハクモンカイ

出版白門会は皆様の会費のみで運営しております。ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

## 編集後記

出版業界でここ数年のトレンドは「電子書籍」と言われています。紙媒体にとって代わり市場の構図を変えるものと数年前から言われ続けてきました。

世界の趨勢とガラバコス日本の動きはリンクしているのでしょうか?電子媒体に受け入れやすい「コミック・ビジネス書・小説」などは堅調な売り上げとデータが出ています。更なる売り上げを目指すために「Amazon」が打ち出した「月額読み放題プラン」が想像以上に売り上げを伸ばし、喜ばしい反面、「想定を上回る印税の支払いが困難になり、版元に支払いができなくなったので…支払いを我慢してほしい…」こんな申し入れが最近あったそうです。黒船Amazonに正論で立ち向かう版元も数社現れ、毅然とした態度で対応する行動こそ日本の出版文化の原点と感じる今日この頃です。(北村)